

五年後の日本

鈴木 翔吏

私は五年後の未来なんて知らないし、ましてや予知することなども出来ない。

だが今のご時世、この世の中を見ていけばこの日本がどのような未来、つまり五年後を迎えるかは予想することはできる。私はこれから起こるこの世の中の出来事や五年後の日本を予想したいと思う。

私は五年後の未来は日本の政治が悪化していると予想する。今この日本は安部総理大臣が政権を握っており、さまざまな事が起きているが、まず目を付けるのは集団的自衛権の事である。この日本は安部首相の判断で集団的自衛権が行使されるかもしれない。そこが私は気になる。この日本は世界大戦後からは一切の戦争又は武力でほかの国と争いは永遠にしないと云っているのに、それを裏切るようなこの法律は何とも不快に思うし、何より国民だけでなく世界の国々からも批判を受けている法律である。しかし、私はこの法律が誤っていると今の大人たちが気付いてこの法律を改法し、この日本を平和にしてくれると信じている。もし、この法律がなくならなかったとしてもこの法律が今よりも格段に内容が緩和されて、武力を使わずして和平的に物事が進められるような日本になっているであろうと私は推測する。今この日本に限らず、世界は後る向きの世界になりかけている。だから私はこの日本が先頭に立って世界を引っ張っていくそんな存在になっていてほしい。

この推測から高齢化社会の問題が連想できる。今日本は高齢化の問題を抱えている。日本人は今仕事を一生に捧げている人が増大してきている。それゆえに結婚をせずに一生を終えてしまう人が増えてきているという事でもある。結婚をし子供を出産しそして一人は結婚をしないのか。それは今の日本人が仕事をし給料をもらいそして一人で楽しく静かに過ごすというのが現実だからではないのだろうか。今日本人は一人である事が楽であるという考えの人が近年増えてきているのだ。それゆえに結婚が減少傾向にあると考えられる。なぜ政治問題からこんな事が予測ができるのかと言うと、今の政治は消費税の問題がある。このまま消費税が高くなっていくと結婚するにあたってお金がかかる為に結婚を控える人が増大してくる。そのために子供を出産しなくなり、老人が増えそして高齢化につながる。

その事から次にある未来が予想できる。それは地方の人間がどんどん減少していくということだ。老人が増え子供が減り、大人たちは地方には残らず都会に進出しそして地方の人間は減少していくのだ。五年後には地方の幼稚園や小学校が激減し、伝統工芸などの地方の産物の跡継ぎなどもどんどん減少してゆき、しまいには地方の人間は老人だけになってしまっただろう。若者は仕事の為に都会に出てきてしまっただろう。地方の人間はそんな若者たちを引きとめることができるような工夫をしなければならぬと言え

る。そして今の若者たちには都会に出てこなくとも地方で働いて、生活も出来るのだからやみくもに都会に出てくる必要はないのかとも言いたい。私は地方や少子高齢化を悪化すると推測するが、今の日本がもつといい方向に向かって行ってくれる事を願う。次に私が予測する五年後の日本は仕事の関係だ。今の日本は就職氷河期とも言われるほどに就職が困難である。ゆえに五年後の日本は就職難民者が増加するだろう。そこで先ほどの地方の人間減少の問題である。この時代に就職難民者が増大してしまつたら、日本の政治経済はアンバランスになるだろう。そこで就職難民者たちは地方の会社や地方の伝統工芸の職人の所に弟子に入るなどして、就職が出来ないなどと言う不祥事を抑え地方は発展し、就職難民者は減少すると言う事が出来るだろう。しかし、今現在の日本がこの現状をどうにかしなければ日本はやはり下に下にと向かつて行くだろう。

これに続いてもうひとつ推測する事が出来るのは犯罪の事だ。今の日本は世界で一番安全な国だと言われているが、犯罪が減っているわけでもなく増えているわけでもない。しかし、先ほど推測した就職難民者が増大していけばそんな人間たちが犯罪に手を染めてゆくだろう。そうなれば今の日本よりよっぽど犯罪は増えて、危険な日本になっていくだろう。そんな日本は今の大人たちが未来の私たちの為に改善をしてもらえないと、よっぽど悪化していくだろう。つまり、私が言いたい事は今の日本は今の大人たちが作った日本である。だから今の私たちが未来を創るなどと言いたいところだが、今の大人たちが少しでも改善してくれなければ私たちが未来をよりよい方向に作れる事も出来ない。ゆえに今の日本を創つて来た大人たちが少しでも変えてくれなければ私たちは何もできないという事でもあるのだ。

この事から連想して未来を想像できるのは環境問題だ。今の大人たちが環境問題をほつたらかしにしているせいで今の私たちが苦労している。それは五年後になっても変わらないだろう。原因は私たちにもある。私たちは暑ければクーラーを点けるし暑ければ暖房を使いたい時に水を使いなどと身勝手に未来などを考えずに好き勝手に続けている。それは当然五年後の日本に限らず世界全てで言える事だろう。五年後は環境問題で大問題になっているだろう。日本ではまず森林がどんどん無くなっていくだろう。森林がなくなる理由はまず一つに資源としての利用だ。未来の日本は森林などを資源をふんだんに使い、家や紙などを大量生産するだろう。それは日本の経済が成長するにつれての通る道としてはしょうがない事だが、ただそのような事をしょうがないで終わりにするのはどうかと思う。森林の資源は限りがある。だからしょうがないでこの問題を終わりにしてしまつたら五年後ではないが、近い未来にはこの日本から森林は殆ど無くなってしまふだろう。現に今日本は山に生えているような雑木林は別として、資源として使われているようなヒノキなどは確実に減少してゆくだろう。それは避けようのない未来であり、逃避できない現実だろう。このままでは日本は資源用の木を失ってゆく。しかしその反面自然を昔みたいに戻そうと言う活動もされている。それは今現時点で

私たちが真っ向から受け止めてそれに協力をし、再生と使用のバランス関係を保つていかなければならない。五年後を変えることが出来るのは私たちなのだから。

もうひとつの環境問題は水だ。水と木はお互いがあってこそ成り立つものだ。森林が多少減ったとしても水資源だけはそこまでは苦勞しないだろう。ただ環境問題として水はとても危険である。水だけでなく自然災害として考えると、水や木などの自然は大変危険である。このまま環境問題が悪化した状態で五年後になれば日本は自然災害で多大な痛手を負うだろう。ここ近年でも大雨や気温の上昇など水が危険とされる事が多大に増えている。これはもう今からでも手遅れだと私は思う。水や木などの災害は環境問題に大いに反映されるのでこの先人間達がどのように環境問題に対して対策や行動をとったところで環境破壊や汚染の進行は止められないし、もうどうにも出来る事はない。しかし、その進行速度を遅くする事は可能である。今人間達が環境問題に対しての感情や考え方が変わり、少しでも対策をするのならある程度は問題がないだろう。私は今の人間達が考え方を変えて行動するとは思えんが、それでも五年後は環境問題が良い方向に進み、資源問題も改善してゆくだろう。

最後に私がこの事から連想して考えられる五年後の日本は生物に関することだ。この環境問題が出てくると避けられない現実である。今の環境が破壊されるという事は生物の生態系にも影響されるという事だ。環境が破壊され生き物が住めなくなり最終的には絶滅というとてもよろしくない事になってしまう。生き物の絶滅は生物の生態系にも悪影響しか及ぼさない上に、二度とその生物が見られなくなってしまふということでもある。それは五年後の日本に生まれてくる人たちにとても悪い事をしてしまふ。そして地球上からその生物がいなくなるという無きものにされてしまふ。そのような事は絶対に避けていきたい。そのためにも今私たちが出来る限りの事をやるしかないと思う。ここでもしある生物が絶滅したとして私たちにどのように影響するのか。例えばミジンコだとしよう。そこまで影響が及ぼされるとは思えないがそこには研究者たちがいる事を忘れないでほしい。研究者はミジンコからも様々な情報をもたらしているのだ。そしてそこから発展してさまざまな分野へ広がっていく。私たちに一見なんの係り合いのないように見えるが、実はそうではないという事をわかってもらいたい。たしかに鮭や鱒などが絶滅したら私たちの食生活には影響が出るから絶滅は危険だとわかるが、そうではなく常に第三者視点で様々な所から考えてほしい。

私が想像・推測が出来るのはここまでである。最後に一つ私が未来に向けての言葉を残したい。こんな事は些細な出来事の一つでしかない。しかし、そんな考えは一切捨ててほしい。今見ている世界や現実は何れもそのままの姿である。地球の環境が悪化してゆくのも、日本の政治が悪い方向に向かって世界から批判を受けている事も現実である。こんな事が未来の日本にどのように悪影響を及ぼし、どのように悪化するかは私が想像した未来が現実になるかもしれない。しかし、そんなのは可能性の一つでしかない。未来や今を変える事が出来るのは私たちであり、今の大人たちの今後の動きである。そん

な行動や言動を悪い方向には持って行ってほしくはない。私の想像した未来は後ろ向きな物ばかりであったが、そうではなく良い方向に持っていく努力をしてほしい。五年後の日本は日本人が心地よく住める国であると願う。